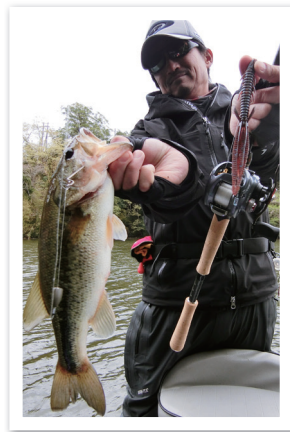


O.S.P. Journal

OSPREY SPIRITUAL PERFORMER



並木の中におけるテキサスリグの位置づけから、各リグとの相違点、そしてオスプレのO.S.Pソフトベイトなど、さまざまな角度からテキサスリグを斬る！

並木敏成が語る、**テキサスリグ。**



テキサスリグ O.S.P.で ビッグバス!!

～O.S.Pソフトベイトとテキサスリグの相性を並木敏成+14人のプロスタッフが説く～

O.S.P.プロスタッフ
14人が推奨する5月のテキサスリグ



全国で活躍するO.S.P.プロスタッフが、それぞれのホームグラウンドにおける5月のテキサスリグの使い方について伝授します。晩春から初夏にかけて、ビッグバスを攻略するヒントはここにある!?

無料
ご自由にお取りください

並木敏成が語る、

ワームを使用するうえで、さまざまなリグが存在する。その中でもテキサスリグは汎用性に優れ、並木いわく「まず、テキサスリグを用意する」というほど、そのポテンシャルは高い。そんなテキサスリグに対する、並木敏成の持論をご紹介しよう。

まずはテキサスリグを用意する

あらゆるシーンで活躍必至のリグ

テキサスリグの仕掛けは、いたってシンプル。パレットシンカーと呼ばれるオモリとフック、ワームで構成される。このとき、シンカーが動かないように、ペグ(シンカーストップ)を使って止めるのがオーソドックスなスタイルだが、あえてストップを装着しない、あるいはシンカーから離して使うこともある。それは例えば、ノーシンカー状態を長く保持したいとき。ストップをシンカーから離れた位置に持ってくる、もしくはそもそもつけない。これでシンカーが先に着底し、そのあとを追うようにゆっくりとワームが沈んでくれる。

逆にカバーの奥にテキサスリグをスキッピングで滑り込ませたいときは、ストップとシンカーを密着させる。もし、キャスト後にストップがズレてしまうようであれば、ときに2個、つけることだってある。

また、ワームに自由度を持たせたいときは5~10cmほど離すこともある。バスがワームを口にしたとき、シンカーの重さに違和感を抱いて離してしまうことがあるからだ。特に1/2オンスとか、シンカーが重くなればなるほど、その傾向は顕著に表われることを覚えておいてほしい。

そんなテキサスリグだが、ほかにもメリットはたくさんある。例えばシンカーとワームが離れているリグ、キャロライナリグやダウンショットなどがその最たる例なんだけど、これらのリグはキャストがしにくい。対してテキサスリグは、非常にキャストがしやすいし、先述したスキッピングのように、狙ったところへの撃ち込みやすさもある。

また障害物を乗り越えるときに、シンカーがワームの先端をいわばガードしてくれているので、ワームの持ちがいいのも特徴。最近、流行のリーダーレスダウンショットでいうと、カバーへのスキッピングは困難であり、ワームの先端がオフセットフックからズレやすかったり、ちぎれやすかったりする。もちろん、リーダーレスダウンショットにはリーダーレスダウンショットのメリットはあるのだが、それはのちほど。

さらに、テキサスリグと聞くと「カバー撃ち」と連想するアングラーが多いだろう。しかしウィードエリアやオダなどがあるところでのスイミングにおいても、そのポテンシャルの高さを発揮する。中層のオープンウォーターではジグヘッドリグに分があるが、ウィードなどをすり抜けさせながらスイミングをさせるには、テキサスリグを置いてほかにないと言ってもいいだろう。

もちろん泳がせるだけでなく、ときに落とし込んで誘うこともテキサスリグでは可能。スイミングさせて落とし込み、シェイクで誘う。ときに、カバーの中にも入れる。つまり一投で、さまざまなシチュエーションをカバーすることができる。それがテキサスリグなのだ。

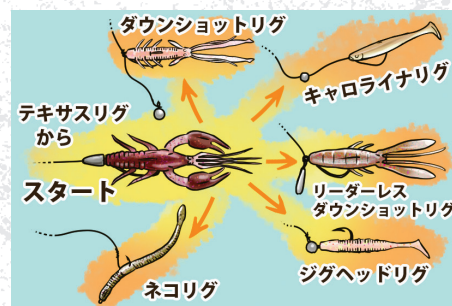
テキサスリグを補うための

さまざまなワーミング

まずはテキサスリグを用意する。しかしワームがノーシンカー状態である時間が、長いほうが食いがいい。そんなときはストップによって調整するというのはすでに解説したとおり。しかし、ノーシンカー状態をもっと長くキープしたいのであれば、キャロライナリグの定番。着底直後のみ、ノーシンカー状態を求めるならテキサスリグよりもシンカーの自由度が高いフリーリグ。また、杭や岩盤などに垂直に落としければ、リーダーレスダウンショット(詳細は後述)。ほか、リップラップなどのハードボトムで根掛かりが多発するようであればネコリグ。フッキング率を上げたいのであればジグヘッド。さらに、ボトムから浮かせて食わせたい、またはより焦らしアクションで食わせたいならダウンショットリグ(ダウンショットリグはリーダーがあるため、テキサスリグよりもよりワームを暴れさせる誘いが可能)という具合に、テキサスリグでは足りない部分を補うリグは多種多様。その日、そのときの状況を見

仕掛けがシンプルで
キャストもしやすい。
ときに、スキッピングで
カバーの奥に
ねじ込むことも。

極めて、的確に使い分けることができれば、釣果は格段に上がるはずだ。



近年、流行を見せている

リーダーレスダウンショット

リーダーレスダウンショットの登場によって、テキサスリグの使用頻度が低くなったという方もいるのではないだろうか。しかしこれは似



参考データ

- 【ドライブシュリンプ4インチ】
フック:FPPオフセット1/0
シンカー:3.5g
- 【ドライブシュリンプ4.8インチ】
フック:FPPオフセット4/0
シンカー:7g
- 【ドライブシュリンプ6インチ】
フック:FPPオフセット5/0
シンカー:14g

※フックサイズおよびシンカーのウエイトは状況に応じて変える。

やすいのだ。さらにボトムではワームを起き上がらせたり、寝かせたりとメリハリのあるアクションをつけることもできる。テキサスリグは一点でワームを起き上がらせたり、寝かせたりという、ワームの立ち角度を変えるようなアクションは苦手だと言ってもいいだろう。これもまた、リーダーレスダウンショットのメリットのひとつだ。

そう、わかりやすくいえばリーダーレスダウンショットはフットボールジグ。テキサスリグは先端が尖ったアーキータイプのラバージグと捉えるとイメージしやすいのでは？



昨年の夏、津久井湖で行ったO.S.P動画のロケ。ドライブビーバーのリーダーレスダウンショットで50cmアップを含むたくさんのバスの反応を得た。その動画がこちら→<https://youtu.be/Q5ABcSSJt18>

撃ってヨシ、巻いてヨシの

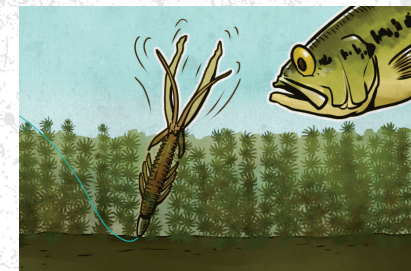
ドライブシュリンプ

テキサスリグでは基本、ワームのパーツが動いて引き抵抗があるものと組み合わせるのがいい。ただしドライブスティックやドライブクローラー、特に9インチのような大きいものをテキサスリグにセットした際も、実は自発的アクションを生むことを知らない人も多いのでは？ 意外とボディをくねらせたり、スライドフォールをしたりと、バスを惹きつけるのに必要十分なアクションをするので試してみてもらいたい。

さて、話しを元に戻そう。テキサスリグにセットするワームについて、引き抵抗があるものという話しをしたが、ドライブシュリンプがまさにそうで、振動する逆手がその動きを各パーツに伝えて動かしてくれる。それだけでなく、フォール時はこの逆手がブレーキとなって、フォールスピードを抑えてくれるという効果もある。つまりストップの位置の調整で、シンカーとワームの着底に時間差を持たせることができるのだ。

また、スイミング系のルアーとしても申し分ない存在だ。さらに落とし込んでからのシェイ

クといったアクションの秀逸さは言わずもがな。もうひとつ、特筆すべき点はボディの長さにある。テキサスリグはシンカーが先に沈んでいくので、例えばウィードや泥底では、シンカーと一緒にワームもその中に潜り込んでしまい、バスにアピールできないという恐れがある。しかしドライブシュリンプであればボディが長いので、シンカーが潜り込んでしまってもボディ全体が隠れることはまずない。というわけでまずは、ドライブシュリンプのテキサスリグからスタートしてみたいかだろうか。



余談だが、Rod & Reel誌2018年6月号において、オリキンと亀山湖釣行の様子が紹介されている。取材当日の朝は冷え込み、バスがシャローをウロついている雰囲気がないタイミングの数時間。オリキンがフロントから亀山湖特有のライトリグ系で釣る中、自分はバックシートからドライブシュリンプ6インチの14gテキサス、ラインは20ポンドというタックルで4バイト2フィッシュ。その取材最大となる一匹をキャッチした。詳しくはRod & Reel 2018年6月号をチェック!!



テキサスリグ。

青山右京 Ukyo Aoyama
 → @岐阜県五三川(おかつぱり)

カバーはもちろん沖の地形変化も!!
 カバーだけでなく、沖の地形変化を探るときにも使用するのがこのテキサスです。軽いウエイトでゆっくりフォールさせることができ、プレッシャーが掛かった個体もバイトに持ち込めます。イメージはふわふわとナチュラルに、ツメを動かして誘う感じです。フォール中にバイトが多いのですが、中層や水面直下での誘いも効果的。すぐにピックアップせず、レンジを変えて誘ってみるのも大事ですね。カバーではシンカーストッパーをがちがちに。沖の地形変化を探るときは3~4cmぐらい空けています。これでバイトしたときに、バスに与える違和感を排除しています。最近、バスは沖へ出る傾向が高まっているので、ボトムの変化やストラクチャーを探ることが一匹への近道です!

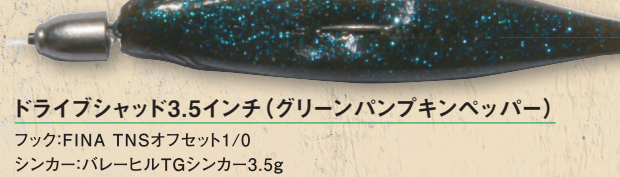
ドライブクロー3インチ (ヨシノボリ)
 フック:RYUGIインフィニ1/0
 シンカー:3.5~5g



大塚高志 Takashi Otsuka
 → @茨城県霞ヶ浦水系(おかつぱり)

縦スト&ブレイクはこれで決まり。
 杭などの縦ストやブレイクを狙う際に使用しています。縦ストではフリーフォールで狙うのがメイン。シンカーが沈んだあと、ワームがイレギュラーに動いてバイトを誘発してくれます。ブレイクではリフト&フォールでOK。リアクションバイトも期待できます。このとき、ロッドは横ではなく縦にさくことが重要。また、巻いてスイミングでも誘えるのがこのリグの最大のメリット。ただし、シンカーストッパーは使用しないのがボク流です。

ドライブシャッド3.5インチ(グリーンバンプキンベッパー)
 フック:FINA TNSオフセット1/0
 シンカー:バレーヒルTGシンカー-3.5g



北田朋也 Tomoya Kitada
 → @千葉県利根川水系(おかつぱり)

回復するアフターがつく縦スト攻略はこれ!
 5月の利根川水系はアフターのバスが回復に努めるため、アシ際や杭、鉄パイプ、コンクリート護岸などの縦ストにつきます。同時に、ザリガニやエビ、カニなどの甲殻類の活動も活発化。それら甲殻類を主食とするバスの本能を刺激する、というのが狙いです。3.5gシンカーでスローに、かつドライブビーパーのバサロアクションを活かしたリフト&フォールが効果的。バイトがあっても慌てず、ひと呼吸おいてからフッキングすることで、確実に掛けることができますよ!

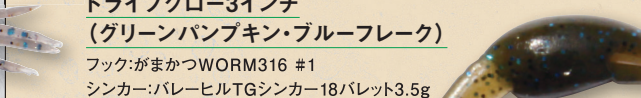
ドライブビーパー3.5インチ (ブラックorエビミソブラック)
 フック:FINA TNSオフセット1/0
 シンカー:DAIWAバザースワームシンカー-TGバレットタイプ1/8オンス



今井新 Shin Imai
 → @茨城県霞ヶ浦水系(ボート)

この時期は特に「スロー」を心掛けて使うこと!
 ディープに隣接する、もしくは水深のあるブッシュや倒れたアシの下などで出番になります。着水から着底までは自発的なドライブアクションにお任せ。着底後は必ず、ルアーの動きを止めて食わせの間を与えます。カバーではラインを引っ掛けてその場でシェイク。何も無いところではスル引きで誘います。5月はバスがスポーニングを意識し、ショートバイトが多くなります。普段はドライブクロー4インチなのですが、その対策として3インチに3.5gというセッティングにしています。シンカーストッパー(RYUGIコンボストッパーM)とシンカーは1cmぐらい空けることで、着底後、ワームがゆっくり倒れ込み、よりナチュラルに誘えます。また押さえ込むようなバイトが多いのですが、1cmぐらい空けることでバイトがとりやすくなるのもメリット。カバーまわりではラインの動きに注目すること、春は着水音を小さくすることを心掛けましょう。


ドライブクロー3インチ (グリーンバンプキン・ブルーフレック)
 フック:がまかつWORM316 #1
 シンカー:バレーヒルTGシンカー-18バレット3.5g



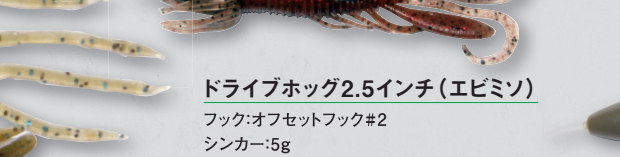
中林正臣 Masaomi Nakabayashi
 → @茨城県野池群(おかつぱり)

2種類のテキサスを使い分ける!!
 ドライブクロー3インチを使用します。ときにドライブビーパー3.5インチを使うことも。そのときどきで使い分けるといいでしょう。太めのフロロより扱いやすい、ナイロンラインの20~25ポンドがオススメです。もうひとつはスポーニング後、縦ストに浮くメス狙いのドライブホッグ。フォールで狙っていくのがメインですが、プレッシャーで口を使わないときは、ストラクチャーに引っ掛けて中層でシェイクします。そのためのマスバリです(写真下参照)。ちなみにマスバリはパープレスの細軸なので、フッキングと同時に簡単に外れます(フックが伸びます)。ドライブホッグはプレッシャーに強いサイズ感で、かつ水平姿勢で誘えるのが選ぶ理由です。浮いているバスより少し上のレンジで誘うことがキモ!

ドライブクロー3インチ (グリーンバンプキンベッパー)
 フック:TNSオフセット#1
 シンカー:7g



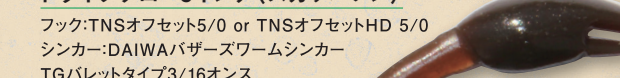
ドライブホッグ2.5インチ(エビミン)
 フック:オフセットフック#2
 シンカー:5g



三村“バカイチ”和弘 Kazuhiro Bakaichi Mimura
 → @滋賀県琵琶湖(ボート)

シェイクで外してボトムに放置が食わせのキモ。
 ゴールデンウィークごろの琵琶湖のテキサスについて、バカイチが伝授するコーナーがやってまいりました! この時期、琵琶湖もスポーニングに絡む、絡まない関係なく、バスはごちゃ混ぜ状態。そんな中で触りたくないのはやっぱり、ネストのサカナです。だからドライブクロー5インチなんですわ。これだけボリュームがあるワームでも、ネストのサカナは食ってきます。でも、バイトがあつて送り込むでしょ。そのタイミングで離されたり、ショートバイトの連続になったりするんです。だからこれなんですわ。ちなみにエリアはシャローからウードのインサイド、そして連なるウードライン。ロッドを10時半ぐらいの位置から細かくシェイクして、12時ぐらいまで上げる。ここでウードや沈みモノに当たればステイ。もし引っ掛かっても強く外さないこと。ほぐすように外してラインテンションを抜きます。そこで放置。これが重要なんですわ。ダブルユニットで確実にラインを結んで、夢のロクマルに挑戦してください! ドライブクロー5インチを持って琵琶湖にGOです。

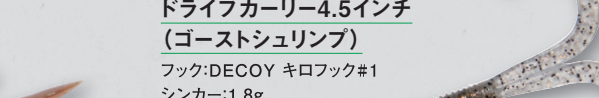
ドライブクロー5インチ(スカッパノン)
 フック:TNSオフセット5/0 or TNSオフセットHD 5/0
 シンカー:DAIWAバザースワームシンカー-TGバレットタイプ3/16オンス



坂本洋司 Yoji Sakamoto
 → @徳島県旧吉野川(ボート)

さまざまな個体が潜む消波ブロックにはこれ!
 プリやミッド、アフターなど、さまざまな状態のバスが混在するのが消波ブロック帯です。ここでスローフォールを主体に、小刻みなシェイクで食わせていくときに威力を発揮するのがドライブカーリーのテキサスなのです。「メスは中層、オスはボトム。ノーアクションでのバイトはメス、もしくはアフター。動かして食うときはオス」という公式めいたものが自分の中にあり、これらすべてに対応できるのも、このワームを使う理由です。1.8gという軽いシンカーで、本来であればスピニングを使用したいところですが、ラインブレイクを防ぐために10ポンドラインのペイトフィネスを選択。プリのメス、およびアフター狙いに効く放置ですがワームが着底後、ナチュラルに倒れ込むようにシンカーストッパーとシンカーの間は1cmほど空けます。消波ブロックの穴のひとつひとつを丁寧に探っていきましょう。

ドライブカーリー4.5インチ (ゴーストシュリンプ)
 フック:DECOY キロフック#1
 シンカー:1.8g



斎藤寛之 Hiroyuki Saito
 → @千葉県利根川水系(ボート)

ときにロングポーズで確実に食わせる。
 スポーニングを終えたバスが体力を回復するために捕食するのがテナガエビです。そこでそのシルエットを模した、ドライブシュリンプをチョイス。しかもこの時期のバスは噛む力が弱く、警戒して深く食い込まないことも多いので、ワーム自体は小さく、それでいて細長く。だから、ドライブシュリンプなのです。バスが体を休めているであろうブッシュで、激しいシェイクはせず、ときにロングポーズで誘います。リブがついた大きなフラットテール部が微振動を起こし、オートマチックに誘ってくれるのも、このワームのメリットですね。シンカーは純タングステンではなく、ビスマスなどの比重が軽い、それでいて体積があるものを使うことで障害物をクリアしやすいことも覚えておくといでしょう。稲シブが入ったらブラック系カラーがオススメです。

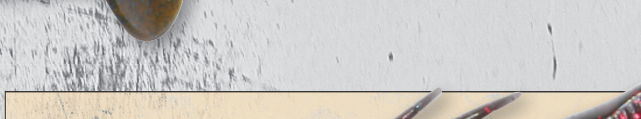
ドライブシュリンプ4インチ(ダークシナモン・ブルー&ベッパー)
 フック:RYUGIリミット1/0
 シンカー:3.5g



O.S.P プロスタッフ14人が推奨する 5月のテキサスリグ

全国各地のメジャーフィールドで活躍するO.S.Pプロスタッフ。その中から今回は14人のスタッフが、5月にオススメするテキサスリグについてご紹介。これを参考にテキサスリグでビッグバスに挑んでみては……!?

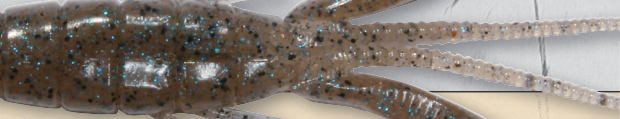
ドライブビーパー3.5インチ
 フック:RYUGIリミット2/0
 シンカー:ジャングルジム ビーンズシンカー-5g




ドライブシャッド4.5インチ (グリバシヤッド)
 フック:ZAPPUバイルドライブ4/0
 シンカー:ジャッカル タングステンバレット シンカー-3.5g



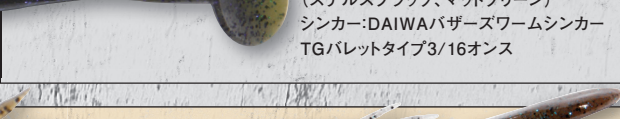
ドライブビーパー4インチ(ゴーストシュリンプ)
 フック:RYUGIリミット3/0
 シンカー:DAIWAバザースワームシンカー-TGバレットタイプ3/8オンス



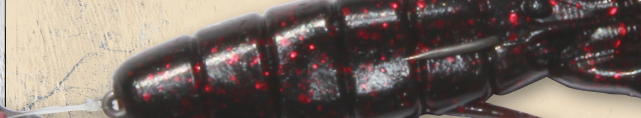
ドライブクロー4インチ (グリーンバンプキンベッパー)
 フック:DECOYキロフック2/0
 シンカー:バレーヒル TGシンカー-18バレット5g



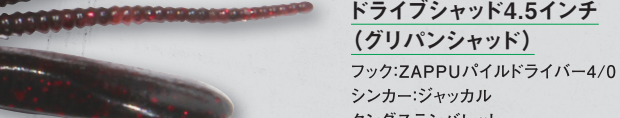
ドライブビーパー4インチ (ゴーストシュリンプ)
 フック:TNSオフセット3/0
 シンカー:DAIWAバザースワームシンカー-TGバレットタイプ3/16オンス



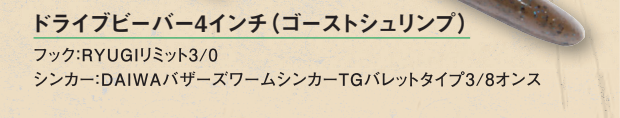
ドライブビーパー3.5インチ
 フック:RYUGIリミット2/0
 シンカー:ジャングルジム ビーンズシンカー-5g



ドライブシャッド4.5インチ (グリバシヤッド)
 フック:ZAPPUバイルドライブ4/0
 シンカー:ジャッカル タングステンバレット シンカー-3.5g



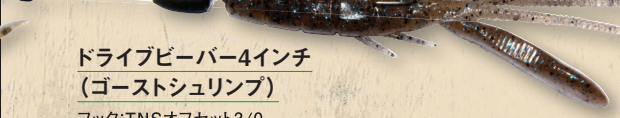
ドライブビーパー4インチ(ゴーストシュリンプ)
 フック:RYUGIリミット3/0
 シンカー:DAIWAバザースワームシンカー-TGバレットタイプ3/8オンス



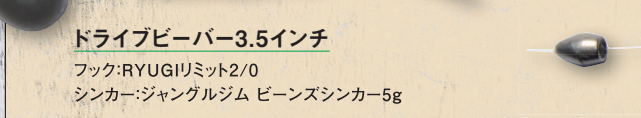
ドライブクロー4インチ (グリーンバンプキンベッパー)
 フック:DECOYキロフック2/0
 シンカー:バレーヒル TGシンカー-18バレット5g



ドライブビーパー4インチ (ゴーストシュリンプ)
 フック:TNSオフセット3/0
 シンカー:DAIWAバザースワームシンカー-TGバレットタイプ3/16オンス



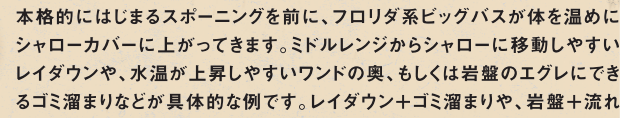
ドライブビーパー3.5インチ
 フック:RYUGIリミット2/0
 シンカー:ジャングルジム ビーンズシンカー-5g



ドライブシャッド4.5インチ (グリバシヤッド)
 フック:ZAPPUバイルドライブ4/0
 シンカー:ジャッカル タングステンバレット シンカー-3.5g



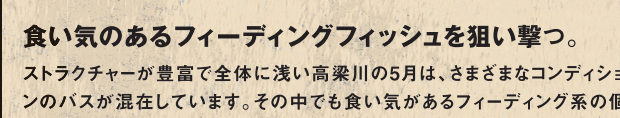
ドライブビーパー4インチ(ゴーストシュリンプ)
 フック:RYUGIリミット3/0
 シンカー:DAIWAバザースワームシンカー-TGバレットタイプ3/8オンス



ドライブクロー4インチ (グリーンバンプキンベッパー)
 フック:DECOYキロフック2/0
 シンカー:バレーヒル TGシンカー-18バレット5g



ドライブビーパー4インチ (ゴーストシュリンプ)
 フック:TNSオフセット3/0
 シンカー:DAIWAバザースワームシンカー-TGバレットタイプ3/16オンス



浮きゴミの直下で“静と動”で食わせる。
 亀山湖でよく目にする浮きゴミに打ち込む、というのがメインの使い方です。ゴミの直下でメリハリのある、静と動のアクションで誘います。ゴミの下にルアーが入らない場合はルアーをゆすってねじ込みましょう。もしくは、ゴミが薄い箇所を狙って、確実にその下にリグを送り込むことが重要です。シンカーストッパーはRYUGIコンボストッパーMを使用しています。

流れがあるスポットでアフター回復狙い!!
 流れがある堰でアフター回復のバスを狙うには、ドライブシャッドのテキサスです。ワームのボリュームがあるので、リップラップの中にも入り込みやすく、根掛かりにも強い! ナチュラルドリフトさせるように、超デッドスローで巻いてくるのがポイントです。またバイトがあつても巻くのをやめずに、ロッドに重みがかってからスリーブフッキング。即アワセは禁物です。遠賀川のバスには、脂のつたサカナのようなグリバシヤッドが効果できめんです!

フロリダ系ビッグバスが潜むシャローカバー撃ち!!
 本格的にはじまるスポーニングを前に、フロリダ系ビッグバスが体を温めにシャローカバーに上がってきます。ミドルレンジからシャローに移動しやすいレイダウンや、水温が上昇しやすいウードの奥、もしくは岩盤のエグレにできるゴミ溜まりなどが具体的な例です。レイダウン+ゴミ溜まりや、岩盤+流れ込み+ゴミ溜まりなど、プラス要素が複合するスポットは狙いめです。ここで誘いは速いフォールによるリアクションか、カバーの直下もしくは中層でシェイクするスローのどちらか。ドライブビーパーはこの両方に対応しつつ、今までにないバサロアクションがバスの本能を刺激してバイトを誘発してくれます。なるべくカバーに近づきすぎないこと、より混み入ったカバーに16~20ポンドのラインで挑むこと。この2点をお忘れなく。デカイバスは、シルエットの大きなモノに反応しますよ!

スローなサカナをフォール後のステイで!
 基本的には、この時期のサカナはスローです。したがってあまり激しいアクションは与えず、ドライブクローが持つ艶めかしい動きを活かして誘うイメージです。ボトムにステイさせると、甲殻類のシルエットとヒゲがわずかに揺れることでバイトを誘発。とにかく派手に動かさず、アシやガマ、杭などを狙ってみてください。

食い気のあるフィーディングフィッシュを狙い撃つ。
 ストラクチャーが豊富で全体に浅い高梁川の5月は、さまざまなコンディションのバスが混在しています。その中でも食い気があるフィーディング系の個体を狙うテキサスがコレです。テナガエビなどの甲殻類がいるであろうカバーまわりや縦ストで、ハードボトムが複合していることがキモ。カバーならラインを引っ掛けて、シェイクしながら表層からレンジを下げていきます。食わなければ「ギョギョバサロアクション」を活かすフォールを! 縦ストでもやはり、フリーフォールが効きます。その後はボトムの変化を感じながらのスル引き&放置でOK。カバー攻略にはシンカーストッパーをシンカーに密着させることをお忘れなく。

折金一樹 Kazuki Orikané
 → @千葉県亀山湖(ボート)

近藤健太郎 Kentaro Kondo
 → @福岡県遠賀川(おかつぱり)

山岡計文 Kazufumi Yamaoka
 → @奈良県七色貯水池(ボート)

山添大介 Daisuke Yamazoe
 → @千葉県印旛沼(ボート)

杉元雄一 Yuichi Sugimoto
 → @岡山県高梁川(ボート)